

教育長メッセージ（まん延防止等重点措置の解除を受けて）

福岡県のまん延防止等重点措置が、3月6日をもって解除されました。かつてない感染拡大により、臨時休校や学級閉鎖等が断続的に続く中、学校におけるPCR検査の実施や保護者への対応など、感染に関する対応にご協力いただいた校長先生を始めとする教職員の皆様に、心よりお礼を申し上げます。

とりわけ、年度の終盤にさしかかる中、子どもたちの学びを止めないために、コンピュータ端末を活用したオンライン学習等に積極的に取り組んでいただきました。大変心強く思うとともに、深く感謝申し上げます。

感染力が極めて強いオミクロン株による第6波では、感染する児童生徒も急激に増加し、これまでに市立学校の児童生徒で感染した1,720人のうち、約85.9%に当たる1,478人がこの第6波の期間中に感染しています。（令和4年3月6日集計時点）

久留米市全体の感染者数は感染のピークは脱したと思われるものの、依然明らかな減少傾向に至っておらず、高止まりの状況となっています。このことは、市立学校の児童生徒も同様の状況であり、引き続き強い警戒が必要です。

学校は、今後、進路決定や修学旅行、卒業式など、大変重要な時期を迎えます。福岡県も4月7日までの1ヵ月を「感染再拡大防止対策期間」とし、感染対策を怠らないよう警戒を呼びかけています。

コロナ禍の中で、学校教育活動と感染防止の両立を図るためには、3回目のワクチン接種に加え、これまでお願いしてきた「マスクの着用」「こまめな手洗いと消毒」「三密の回避」など、基本的な感染防止対策の継続が重要となります。

今春卒業を迎える小学6年生及び中学3年生は、令和2年度当初の長期にわたる臨時休校を始め、度重なる感染の波を受け、思い出に残る学校活動や行事が中止又は縮小され、先生や友達との関わりも制限を余儀なくされました。

教職員の皆様におかれましては、引き続き感染防止対策の徹底や創意工夫による学校活動の実施を図っていただき、子どもたちが少しでも多くの思い出を胸に、笑顔で学校を巣立つ春となるよう、ご協力の程どうぞよろしくお願い致します。

令和4年3月7日

久留米市教育長 井上 謙介